

船橋市・森林の学校「森林整備養成講座」への協力について

NPO法人こびすくらぶ

今年も船橋市主催の森林整備養成講座が平成31年1月20日(日)から4回にわたって、都市近郊の森林整備の重要性とその整備方法及び市内で活動している団体への参画を目的として開催されることとなり、こびすくらぶとしても後継者不足の問題を解消のため、以下のような協力体制をとりました。

本年度の参加者は14人、ここ数年の例に比べて2倍以上の数となり、その構成は、男性11、女性3、年齢別では40代1、50代4、60代5、70代4となっています。

講座のカリキュラムは、例年どおり、第1日目は、県北部林業事務所印旛支所小長谷さんによる「東葛地域の森林現況」に関する講義の後、北部公民館に近い「教育の森」において、この森林をどのように整備していくのか決めるための植生調査を中心とした実習をしました。第2日目は、1月27日(日)、北部林業事務所印旛支所海老根さんによる森林整備用機材の安全教育の後、1人1台による刈払い機使用実習を行いました。第3日目は、2月2日(土)、こびすくらぶのベースキャンプ等において、マダケの伐採・4つ割り・節取り等、防護柵補修の実技講習を1日掛かりで実施しました。

最終日は、2月9日(土)、午前中にチェーンソーによるシラカシ伐採の見学と薪材用の玉切り作業の実習を行い、午後は閉校に当って多くの参加者の入会を願う里山連絡会所属の各団体によるPRが行われる予定でしたが、降雪の予報により全て中止となりました。なお、当くらぶの参加人数は、3日間を通じ延べ15人となりました。



第1日：植生調査の実習



第3日：防護柵補修の完成